



国指定重要有形文化財 旧亀岡家住宅前 令和の紳士・淑女？が勢ぞろい



高札（制札とも）が伝達の手段 今はスマホか？



けやきの一枚板、銘木とすごい造りが一杯

伊達町に残る高札の解説をする
伊達町正男講師

これが、ふるさとに残る高札から
当時の為政者が出した法令の
意図と庶民の気持ちに思いを
はせました。その後、資料館
の学芸員の方から、旧亀岡家
宅について、お話を拝聴し
ました。桑折町伊達崎の蚕種
製造家龜岡正元により明治の
後期に、外観は洋風、内観は
和風の建物として地方での希
有な事例として評価されて
います。内部には趣向を凝
らした意匠や数々の貴重な銘
木があり、現在では手に入れ
ることが難しい、見る人を
飽きさせない魅力いっぱい
の豪農の館でした。

慶應4年の高札第4刷

NPO法人 伊達西地区 自治協だより

第23号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会発行責任者
理事長 小野孝雄

らぶ2Date V歴史編①

- 1面 らぶ2Date V 歴史編①
- 2面 トレッキング「尾瀬」・らぶ2Date V 大地編①・寄せ植え教室
- 3面 第一回しゃべり場
- 4面 子どもチャレンジ教室「キャンプ」
- おらが町内会パート2 「東町」

伊達市内に残る“高札”を見てみよう

東町町内会の広がり

東町は東西に福島信用金庫伊達支店から伊達橋まで、南北はJA直売所みらい百彩館「んめーべ」から同仁社伊達工場までです。歴代の町内会長は、芳賀孫四郎、田中光友、佐藤富男、佐藤正、鈴木彰、菊地一美、芳賀甚一郎の各氏です。町内会から佐藤正、中村賢悦の両氏が旧伊達町の町会議員として、地域に貢献していました。

世帯数 伊達市で2番目

東町町内会は360世帯で戸建て住宅が260世帯で残ります。伊達市全町内会の中で保原町西町内会の374世帯に次いで2番目に世帯の多い町内会です。過去には町内会を二分割する案が提案されました。

令和元年 若連の皆さんといっしょに

平成18年から毎年秋に実施され、200人弱の方々が集まり、当時は飲食ブースではかき氷、サンマの炭火焼き、ビールサーバー、焼きそば、焼き鳥、屋外ステージでは、カラオケ、ビンゴゲームなど

で、楽しく親睦を深めていました。毎年7月23日～25日までの3日間は長岡天王祭に山車を出して、町内の子どもから大人まで、全世代の多くが参加をして、親睦と団結力を深め、絶好の機会になつていています。3年前には天王祭の昇り旗一对を町内会の方々から寄贈いただき、祭礼の期間中伊達橋の西側で悠然となびいていました。

行政・文化的施設 これまで当町内会も他の町内会と同様に高齢化率が高まり、65歳以上の高齢者が30%を超える状態になりました。これらの東町町内会は町内が大いに見守り、助け合って、公共交通券」を利用して、要支援者、支援者登録をして共助社会構築事業を発足し、明るく、楽しい精神で、伊達市が推進している「どーも

供会、ことぶき会、青少年育成会、あぶくま福祉会と協力しながら、活動していくたいと思います。東町町内会長 山田陽茂

多彩な企画に多くの参加者を得て活発な活動が見られました。今後の事業・活動についても、皆さんの盛り上げの力を期待します。積極的な意見や感想をお寄せ下さい。「住んでよかつた」という地域をみんなで造りましょう。

(八島)



令和元年 東町ふれあいフェスティバルの様子

シリーズ おらが町内会 part2

東町町内会

戦前・戦後までは伊達町の中部として活動していましたが、その後に東町、長岡、殿町、中央と四つの町内会に分かれました。その後、世帯数が増え伊達市の町内会では2番目の大きな町内会となりました。

市で2番目の大きな町内会

毎年7月23日～25日までの3日間は長岡天王祭に山車を出して、町内の子どもから大人まで、全世代の多くが参加をして、親睦と団結力を深め、絶好の機会になつていています。

3年前には天王祭の昇り旗一对を町内会の方々から寄贈いただき、祭礼の期間中伊達橋の西側で悠然となびいていました。

国道沿いの郊外店

平成5年にはヨークベニマル伊達店が開店、平成21年2月はJA直売所みらい百彩館「んめーべ」が開店して町内には活気と賑わいが溢れています。かつて電車が4号国道

を渡った跨道橋は、小・中学

生の安全通学路になつていま

す。町内には国道4号線沿いには全国チエーンの郊外店が

多くあり、歩いて散歩がてら飲食できるのが幸せです。

子どもチャレンジ教室 伊達・桑折合同キャンプ

7月31日(水)から8月2日(金)まで、南蔵王野営場で、伊達西地区と桑折町の子どもたち36名の合同キャンプを行いました。

1日目の熊野岳登山では、強風と濃霧で視界が悪い中でしたが、みんなで協力して登り切りました。夜は提灯の明かりでナイトハイキングに出かけ、夏の大三角形など星を観察しました。

2日目は沢登りとイワナつかみにチャレンジ。全身びしょ濡れになりながら、水位が高い難所も乗り越えました。ライフガイアケットを着て、見上げるほど高い岩に登りに挑戦した子もいました。イワナは自分の手でつかまえてさばき、焼きたてをいただきました。夜のキャンプファイヤーでは、燃え盛る火を囲んで歌ったり班の出し物をしたりして楽しみました。

3日目は自然観察に出かけ、森の草花を間近で見て触って観察しました。

はじめはぎこちなかつた仲間とも3日間ですっかり仲良くなり、元気に笑いあう姿が生き生きとしていました。

キャンプ場での食事は自分たちで作り、普段なじみのない飯ごうやかまどの火の扱いに苦労しながらも頑張りました。

3日間ですっかり仲良くなり、元気な笑いあう姿が生き生きとしていました。

●飯盒炊さん
●イワナつかみ
●桑折山登山
●火の子に友情の火・協力の火・希望の火・奉仕の火を与える火の神
●沢登り
●自然観察
●キャンプファイヤー
●イワナつかみ
●桑折山登山
●火の子に友情の火・協力の火・希望の火・奉仕の火を与える火の神
●火加減が難しい
●カレー大成功
●かき氷も格別のおいしさ
●頂上で
●見事な稜線の櫛ヶ岳をバックに
●ニッコウキスゲ
●尾瀬ならではの木道を軽快に

トレッキング「尾瀬」

7月13日(土)沼山峠から尾瀬沼を目指す尾瀬トレッキングを開催しました。この事業では初めての小学生の参加者を含めた17名にご参加いただきました。雲り空ではありましたが、燧ヶ岳の頂上がはつきりと見える好条件で、景色も楽しむことができました。咲き始めのニッコウキスゲをはじめとした様々な草花を見る 것도でき、大変充実したトレッキングでした。



5年目を迎えた、らぶらぶdate V 大地編①

5年目を迎えた、らぶらぶdate V の大地編が、6月26日(水)講師の八島俊雄先生の講話で開催されました。

テーマは「ふるさとの福島盆地を学ぼう」です。振り返ると、伊達西地区を東西・南北に歩き、住んでいる地域の地形を見て回り、地域の大地の理解を深めてきました。ほぼ平らな地形でも、自然の営みを伺える地形を見ることができました。今回は地域(ふるさと)を広げての福島盆地①でした。浸食、地盤運動などの成因を詳しく地形図で解説いただきました。



寄せ植え教室

6月28日(金)山中厚子先生を講師に迎え、鉢に植物を植えるコツ、花のお手入れ、肥料のやり方をわかりやすく丁寧に教えていただきました。

ひとつの鉢を自宅の庭だと思って寄せ植えする楽しさを学んだ教室でした。これから皆さんの庭が今よりももっと素敵な癒しの庭になると良いですね。



第一回しゃべり場

8月30日(金)今年度第一回目の「しゃべり場」が開催されました。

今回は、地域づくり事業のらぶ2 Date 大地編・歴史編の過去三年間の資料の合本が完成したので、しゃべり場にご参加いただいた皆さんに手に取つて見ていただきました。生ビールと一緒にいかのポップ焼き、春雨サラダ、アナゴきゅうりなどを食べながら、皆さん大いに盛り上がってました。スロージューサーを使った朝取りトマトの生ジュースや黄桃のジュースは、女性の皆さんに大変好評でした。

